

近畿部会第144回例会

全史料協近畿部会では、資料保存に携わる会員の技術向上のため、さまざまな種類の歴史資料の保存に関する基礎的な学習と修復などの実践を2016年から継続しておこなってきました。今回はその第3弾として、写真資料をテーマに取り上げます。

■と き 平成30年3月10日(土) 13:00~16:00

■ところ 京都造形芸術大学日本庭園・歴史遺産研究センター

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

電話 075-791-9018

京阪出町柳駅より、市バス上終町3系統/上終町京都造形芸大前行「上終町京都造形芸大前」下車(所要時間約15分)すぐ。

叡山電車(京阪出町柳駅乗りかえ)茶山駅下車、徒歩約10分。

<https://www.kyoto-art.ac.jp/info/about/access>

■テーマ **近現代写真資料に対する
保存処置を体験するワークショップ**

近現代のアルバムに貼っている一般的な写真の劣化・損傷に対し、保存に必要ないくつかの処置をするワークショップです。

■講師 大林 賢太郎 氏(京都造形芸術大学歴史遺産学科教授)

■内容

イントロダクション

印画紙とネガの歴史(レクチャー/ワークショップ)

1. 近現代写真について

- ・アルバムと台紙の調査(ワークショップ)
- ・形態としての台紙写真とアルバム(レクチャー)

2. 印画紙の劣化・損傷

- ・劣化損傷の諸相と処置(レクチャー)
- ・劣化損傷箇所に対する処置(ワークショップ)

セロテープ剥がし、折れ山の処置、破れ箇所の継ぎ接合、カビの殺菌処置と痕跡の除去等

おわりに

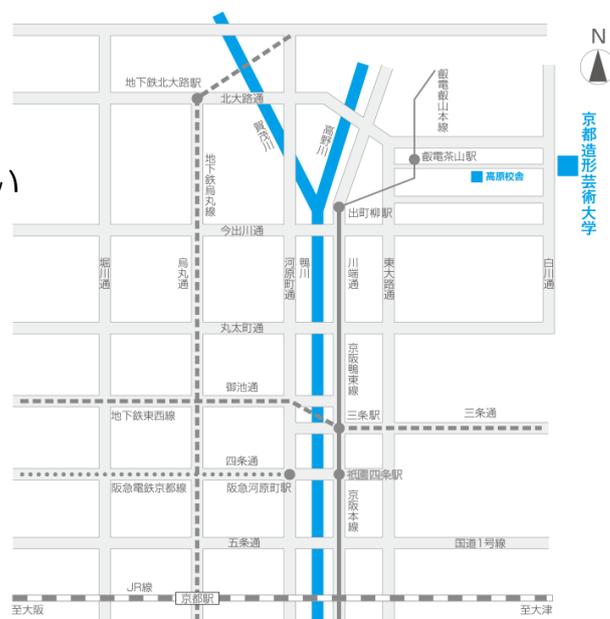
- ・処置の必要性和緊急性の判断について(レクチャー)
- ・これからの写真資料の取り扱いと処置の方向性
(デジタル化と実物保存の狭間で)

■定員 20名

■参加申込み

事前に申込みが必要です。下段をご覧ください
なお、応募者多数の場合、抽選とします。

*多数の会員の参加をお待ちしています。



近現代写真資料の保存処置のワークショップの参加申込みについて

下記の事項を明記の上、メールでお申込みください。

氏名：

氏名ふりがな：

住所：

電話番号：

所属：

会員区別： 会員 通信会員 非会員

メール送信先：archives☆library.pref.fukui.jp

☆を@に置き換えて送信ください。

2月24日（土）必着

※個人会員、機関会員の場合、参加費は無料です。

※通信会員、非会員は、参加費1200円が必要です。当日お持ちください。

※応募者多数の場合抽選とします。

参加の可否については、メールでお知らせします。

(メールの指定受信・拒否設定を確認しておいてください。)

メールで連絡のない場合は、事務局までご確認ください。